

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E111B009	社会科指導法(小) (Teaching Method of Social Studies(elementary school))																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	2	教育学部			氏名 平田 利文 E-mail hirata@oita-u.ac.jp 内線											
授業の概要	小学校社会科の目標や内容構成などの全体像を理解する。また、教材研究法と学習指導構想の具体的な技術を習得し、3年次の教育実習につなげる。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	社会科の目標や内容構成、特徴など、小学校社会科の全体像を理解することができる。																
目標2	社会科の中からいくつかの領域(内容)を取り上げ、具体的な学習指導案、授業展開例を作成することができる。																
目標3	社会科の指導技術を学び、模擬授業ができるようになる。																
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	イントロダクション																
2	社会科の目標、内容 - 公民的資質の育成																
3	年間指導計画 - 年間指導計画の立て方																
4	具体的な授業展開の検討 - 学習指導案の書き方																
5	具体的な授業展開の検討 - 教材研究法																
6	具体的な授業展開の検討 - 学習過程																
7	具体的な授業展開の検討 - 評価方法																
8	学習指導案の作成 - 単元目標																
9	学習指導案の作成 - 単元設定の理由																
10	学習指導案の作成 - 単元計画																
11	学習指導案の作成 - 本時案の作成																
12	模擬授業の検討 - 模擬授業の実施(1)																
13	模擬授業の検討 - 模擬授業の実施(2)																
14	模擬授業の検討 - 模擬授業の実施(3)																
15	総括(まとめ)																
ラーニング	A:知識の定着・確認	グループ学習により、グループ内での意見交換ができるようになり、全員で学習指導案が作成でき、最終的に模擬授業ができる。					工夫	その他の	指導案作成に当たり、必要な資料を収集できるようにする。								
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	模擬授業の資料を事前に収集しておく(各1時間程度)															
	事後	模擬授業のために収集した資料・データを整理する。(各1時間程度)															
教科書	社会認識教育学会編『小学校社会科教育』(学術出版社、2019) 文部科学省『小学校学習指導要領』、文部科学省『小学校学習指導要領解説社会編』																
参考書	小学校社会科教科書3～6学年																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	グループ学習	30%															
	指導案の完成度	30%															
	模擬授業	40%															
注意事項	なし																
備考	なし																
リンク																	
	URL																